

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65%	自校A B層の割合	50%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ■標準学力調査による学力の客観的データの蓄積と分析を生かした授業改善 ■各教科での探究的な学習を重視 ■読書科の更なる充実 ■教科担任制の推進 ■指導教諭の効果的活用 <p>《CD層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■標準学力調査を基にした、効果的、計画的な指導の充実(朝学習、放課後補習等) ■SC、特別支援学級支援員、SSWとの連携を強化し、発達障害児やグレーゾーンに属する児童の理解と個に応じた支援の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ■デジタルドリルの活用 ■学力向上アクションプランの策定 ■朝学習の充実・系統的指導 ■東京ベーシックドリルやデジタルドリル等を活用して基礎的・基本的事項の復習 ■基本的な計算技能について、東京ベーシック(算数)やデジタルドリル等を活用した反復練習 ■タブレット端末を用いた、文章作成および授業での活用 <p>《CD層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スキルアップ教室の戦略的活用 ■標準学力調査による学力の客観的データの蓄積と分析を生かした苦手問題の克服 ■南二道場の効果的・系統的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人1台端末、デジタルドリルの積極的な活用 ■学年に応じたタブレットPCの基本操作の定着 ■休み時間の外遊び ■「南二小よい子の一日」や「南二小タブレット・スマホルール」を守ろうとする意識の醸成・啓発 ■ホームページ、学校・学年便り、保護者会を通じた教育方針の周知徹底 <p>【家庭との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早起き早寝朝ごはんの習慣化 ・場に応じた挨拶の習慣化 ・インターネット(SNS等)の使い方の向上 <p>《CD層へのアプローチ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■補習と家庭学習の連携 ■東京ベーシックドリルの活用 ■個人面談、連絡帳、電話連絡、対面等による児童理解、保護者理解
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の短く、端的な分かりやすい発問、指示 ○エピソードを挿入した具体的な説話 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人1台タブレット端末のデジタルドリル ○えどダブルール、南二小タブレット・スマホルールの遵守 ○基本的な技能について東京ベーシック等を活用と反復練習による定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○「江戸川っ子study week!」の取組 ○デジタルドリル/東京ベーシックドリルの活用 ○家庭学習推進のための取組 ○えどダブルール、家庭ルール等
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査の質問用紙の「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」で肯定的な回答の割合70%以上 ○「先生の授業は分かりやすいと思う」で肯定的な回答の割合70%以上 ○「授業の中で分かったことがあった時には、自分から進んで手をあげたり、発表したりしていますか」で肯定的な回答の割合60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査質問用紙「授業の内容はよくわかりますか」で肯定的な回答の割合85%以上 ○CD層(国・算) 50%以下 ○標準学力調査の向上的変容 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査質問用紙「ゲーム、SNS、動画視聴に関係する時間が2時間より少ない児童・生徒の割合60%以上 ○学校の授業時間以外の勉強時間1時間以上の回答割合70%以上 ○「江戸川っ子study week!」の取組目標到達率80%以上